

第5章 計画実現のための財源確保と計画の見直し

(1) 膨大な事業実施に向けた財源確保

本市は、東日本大震災からの復旧・復興のため、市民の生命及び財産を守り、暮らしと生業を再生し、観光交流等を推進すべく、数多くの公共施設等を整備してきました。

今後は実施を延期してきた通常事業（新規整備を含む）に加えて、既存施設の老朽化対策や長寿命化の事業を推進していく必要があります。

しかし、そのための財源が十分に確保されているとは言えず、本市の現状の財政見通しでは、全ての事業を計画的に実施することは困難な状況です。

したがって、今後は計画的に事業を進めていくため、廃止施設等の利活用の推進に加え、維持管理費等の見直しによる財源確保のほか、インフラ及びハコモノ施設の新規整備だけでなく長寿命化や解体を含めた交付金制度の充実を求めるとともに、震災に起因する等の特殊事情による費用等については、国・県の財政支援を継続的に要望していきます。

(2) 計画見直しの検討

公共施設等総合管理計画は、平成28年3月に策定し約7年が経過しました。この間、復興事業はおおむね完了し、復興公営住宅を始め、多くの公共施設等が整備されました。

そのため、今回の改訂において、本計画の更新費用の推計、現状課題の把握、総量に関する数値目標等を見直しました。

今後も、個別計画の策定や、各計画の総合的かつ計画的な推進を図るとともに、社会情勢等を勘案しながら、不斷の見直しを実施し、充実を図っていきます。

卷末資料

(1) 将来更新費用の推計

(1) 共通

① 推計の概要

(ア) 公共施設（ハコモノ）

建築後30年で大規模修繕、同60年で更新を想定しています。大規模修繕及び更新の単価は総務省推奨ソフトにおける施設用途別単価（円/m²）を採用しました。なお推計時点（平成28年度）より前に更新費用が生じている公共施設については、平成28年度から令和37年度までの40年間に均等に配分して計上しました。

(イ) 公共施設（インフラ）

道路舗装は15年ごとに4,700円/m²にて更新、橋梁は60年ごとに425千円/m²にて更新をそれぞれ想定しています。下水道は50年ごとに管径別単価（例：250mm以下は61千円/m）にて更新することを想定しています。

② 推計期間

平成28年度（2016年）を起算時点として令和37年度（2055年）までの40年間としました。

③ 更新期間

更新や大規模修繕に要する工事期間については、考慮しないで推計しています。

④ 財源

更新費用の推計は事業費ベースで算出しており、国庫補助金、各種使用料収入、地方債等は考慮していません。そのため将来の更新時点における一般財源ベースの財政負担とは、必ずしも一致するものではありません。

(2) 公共施設（ハコモノ施設）

更新期間経過後に現在と同種及び同規模にて更新するものと仮定します。また、建物付属設備については躯体と一緒にして更新するものとします。なお、公共施設の用途分類に対応した更新単価（延床面積に乘じる）及び更新期間は次の表のとおりです。

表6.1.1 公共施設の更新条件

用途分類(大分類)	更新単価	大規模修繕単価
	(建築後60年)	(建築後30年)
行政庁舎	40 万円/m ²	25 万円/m ²
防災施設		
集会所・地域コミュニティ施設		
衛生施設		
産業関連施設		
医療施設		
社会教育施設		
保健・福祉施設	36 万円/m ²	20 万円/m ²
観光施設		
体育施設		
その他公共施設	33 万円/m ²	17 万円/m ²
学校教育施設		
インフラ系ハコモノ施設		
公営住宅	28 万円/m ²	17 万円/m ²

(3) インフラ施設

道路、橋梁及び公共下水道（汚水及び雨水）の更新条件は次の表のとおりです。なお、下水道施設のうち雨水管渠施設については、下表の管径に近似する条件にて設定しました。

表6.1.2 インフラ施設の更新条件

種 別	更新年数	更新単価
道路舗装	15 年	4,700 円/m ²
橋梁	鋼橋	500 千円/m ²
	その他	425 千円/m ²
下水道 (管径)	250mm以下	61 千円/m
	251mm～500mm	116 千円/m
	501mm～1000mm	295 千円/m
	1001mm～2000mm	749 千円/m
	2001mm～3000mm	1,680 千円/m
	3001mm以上	2,347 千円/m

(2) 中長期的な経費見込み

(1) 維持管理費の分類

維持管理費は、維持管理・修繕費と事業運営費の2種類に性質別分類しました。

なお、中長期的な経費見込みの推計については、事業運営費は、高額な人件費・光熱費等を含むため除外し、維持管理・修繕費を推計の対象としました。

表6.2.1 維持管理費の分類

費目	細目	該当する費用
維持管理・修繕費	修繕費	経常的な建物の維持管理業務、整備業務における費用
	建物管理委託費	検査手数料、施設清掃委託料、施設警備委託料、機械類保守点検委託料など
	土地・建物賃借料	地代、家賃、建物の賃借料など
	その他維持管理費	上記以外で建物や設備、機械を維持するために必要なコスト
事業運営費	人件費	施設の維持管理・運営に要する人件費
	光熱水費	電気料金、ガス料金、水道料金、下水道使用料、燃料費等
	事業運営委託料	施設におけるサービス提供や業務実施に関連する業務の委託に要する費用
	その他事業運営費	通信費、印刷製本費、備品購入費、機械類の物品リース代、賄材料費、医療材料費、通信運搬費、保管料、広告料、手数料、保険料等

※本改訂では、ハコモノ施設（普通会計）の施設を対象として集計しました。今後はインフラ施設・公営企業会計対象の施設も含めた維持管理費の推計を検討していきます。

(3) 市民アンケートの集計結果

I. 調査目的

「公共施設等総合管理計画」を策定するにあたり、市民の公共施設の利用状況や今後の公共施設に対する考え方を把握するために実施しました。

II. 調査方法

アンケート票の郵送による配布・回答（返送）

III. 調査期間

平成27年7月15日（水）から8月5日（水）

IV. 調査対象者

住民基本台帳から無作為に抽出した20歳以上の市民2,700人

V. 回答者数

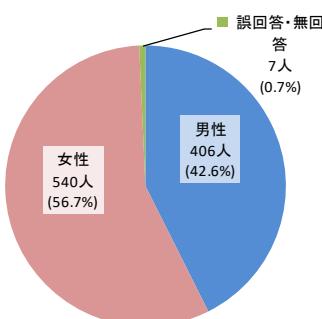
953人（回答率35.3%）

VI. 設問及び回答の集計結果

① 回答者の概要

設問1 あなたの性別を教えて下さい。

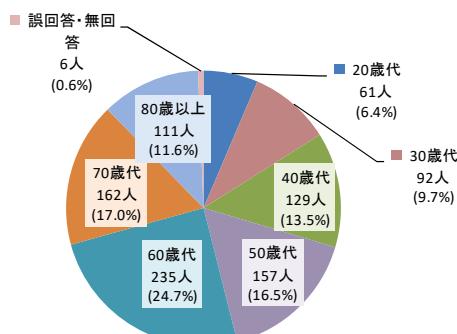
項目名	回答人数	割合(%)
男性	406	42.6
女性	540	56.7
誤回答・無回答	7	0.7
合計	953	100.0



注) 項目名の「誤回答」は一つのみ選択しなければならないものを複数選択した場合、「無回答」は何も選択がなかった場合をあらわします。

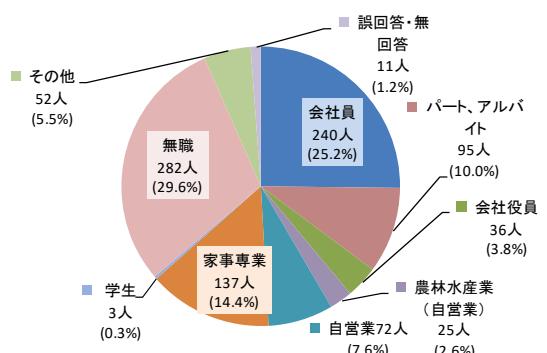
設問2 あなたの年齢を教えてください。

項目名	回答人数	割合(%)
20歳代	61	6.4
30歳代	92	9.7
40歳代	129	13.5
50歳代	157	16.5
60歳代	235	24.7
70歳代	162	17.0
80歳以上	111	11.6
誤回答・無回答	6	0.6
合計	953	100.0



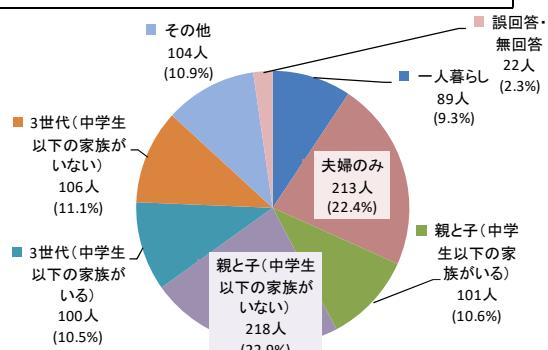
設問3 あなたの職業を教えてください。

項目名	回答人数	割合(%)
会社員	240	25.2
パート、アルバイト	95	10.0
会社役員	36	3.8
農林水産業(自営業)	25	2.6
自営業	72	7.6
家事専業	137	14.4
学生	3	0.3
無職	282	29.6
その他	52	5.5
誤回答・無回答	11	1.2
合計	953	100.0



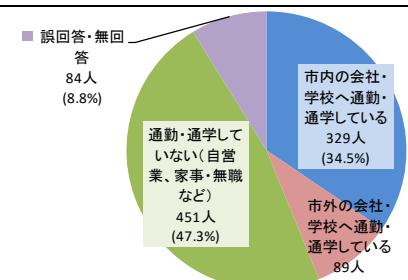
設問4 あなたの世帯構成を教えてください。

項目名	回答人数	割合(%)
一人暮らし	89	9.3
夫婦のみ	213	22.4
親と子(中学生以下の家族がいる)	101	10.6
親と子(中学生以下の家族がない)	218	22.9
3世代(中学生以下の家族がいる)	100	10.5
3世代(中学生以下の家族がない)	106	11.1
その他	104	10.9
誤回答・無回答	22	2.3
合計	953	100.0



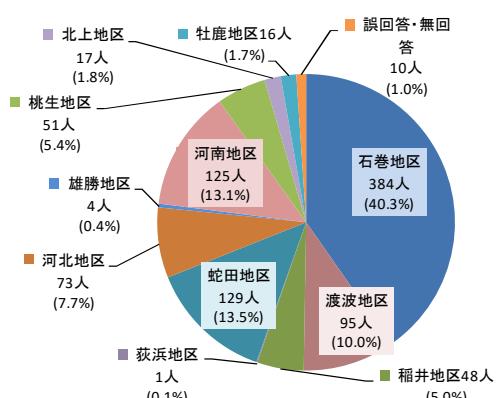
設問5 あなたの通勤・通学先を教えてください。

項目名	回答人数	割合(%)
市内の会社・学校へ通勤・通学している	329	34.5
市外の会社・学校へ通勤・通学している	89	9.3
通勤・通学していない(自営業、家事・無職など)	451	47.3
誤回答・無回答	84	8.8
合計	953	100.0



設問6 あなたが現在お住まいの地区を教えてください。

項目名	回答人数	割合(%)
石巻地区	384	40.3
渡波地区	95	10.0
稲井地区	48	5.0
荻浜地区	1	0.1
蛇田地区	129	13.5
河北地区	73	7.7
雄勝地区	4	0.4
河南地区	125	13.1
桃生地区	51	5.4
北上地区	17	1.8
牡鹿地区	16	1.7
誤回答・無回答	10	1.0
合計	953	100.0



② 公共施設（ハコモノ施設）の利用状況

設問7 以下の①から⑫の公共施設（ハコモノ施設）の種類ごとに、あなたの利用状況について1から10の中で最も近い番号の1つに○をしてください（「ほぼ利用しない」場合は該当する「理由」のうちから1つを選んでください）。

項目名	利用する		ほぼ利用しない							誤回答・無回答
	よく利用する（月に数回）	時々利用する（年に数回）	い施設の存在やサービス内容を知らない	利用する必要（機会）がない	震災により施設が無くなつた	交通アクセスが不便である	利用時間帯が合わない	るサービス内容や利用料金に不満がある	市外の公共施設（ハコモノ施設）を	
①集会所・地域コミュニティ施設	66	213	57	455	9	14	23	2	2	12 100
②公民館・公民館分館	35	153	39	549	17	14	25	2	1	10 108
③図書館・図書館分館	29	92	37	561	6	59	35	2	4	5 123
④その他社会教育施設	24	146	63	508	5	55	25	2	4	3 118
⑤保健施設	9	159	64	562	2	19	18	0	0	3 117
⑥老人福祉施設	28	24	52	703	2	12	7	0	1	16 108
⑦児童福祉施設	45	18	30	719	1	10	7	1	0	4 118
⑧観光施設	71	413	18	289	0	38	11	5	1	2 105
⑨医療施設	83	243	14	284	19	37	11	3	7	147 105
⑩学校	26	31	65	677	2	5	13	0	0	1 133
⑪体育施設	45	133	56	554	6	17	17	3	3	6 113
⑫庁舎・総合支所・支所	62	537	14	204	3	14	11	0	0	0 108
合計	523	2,162	509	6,065	72	294	203	20	23	209 1,356

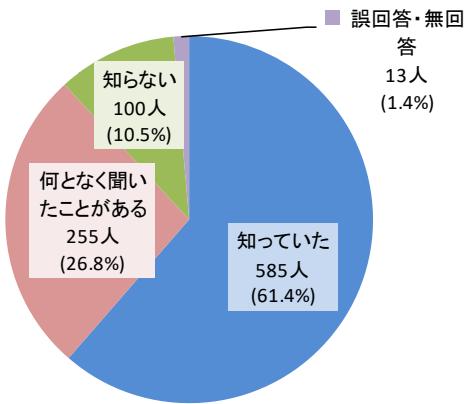
◆ 傾向等

- ・全体的にほぼ利用しない人の割合が高い。
- ・観光施設と庁舎・総合支所・支所は時々利用する人が多い。
- ・ほぼ利用しない施設として、児童福祉施設、老人福祉施設、学校の順に最も高い。
- ・ほぼ利用しない理由として、利用する必要（機会）がないが最も高く、次いで施設の存在やサービス内容を知らない、交通アクセスが不便である、の順となっている。
- ・医療施設は民間施設を利用している人の割合が高い。

③ 公共施設に関する情報の認知度

設問8 「公共施設等を適切に点検したり改修しないと、橋が壊れて落ちてしまったり道路が陥没して穴があいてしまったりという事故が起こるので公共施設等の管理を適正に行うべきである」という話題についてご存知でしたか。

項目名	回答人数	割合 (%)
知っていた	585	61.4
何となく聞いたことがある	255	26.8
知らない	100	10.5
誤回答・無回答	13	1.4
合計	953	100.0

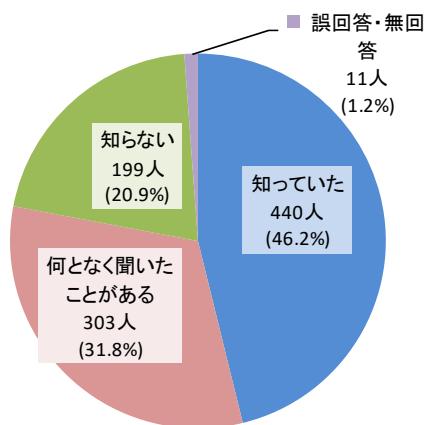


◆ 傾向等

知っていた、何となく聞いたことがある人の割合が約9割で、知らない人は約1割である。

設問9 高度経済成長をきっかけに、昭和40年代後半から昭和50年代にかけて造られた多くの公共施設等が、今後いっせいに建替えや改修の時期を迎える」という話題についてご存知でしたか。

項目名	回答人数	割合 (%)
知っていた	440	46.2
何となく聞いたことがある	303	31.8
知らない	199	20.9
誤回答・無回答	11	1.2
合計	953	100.0

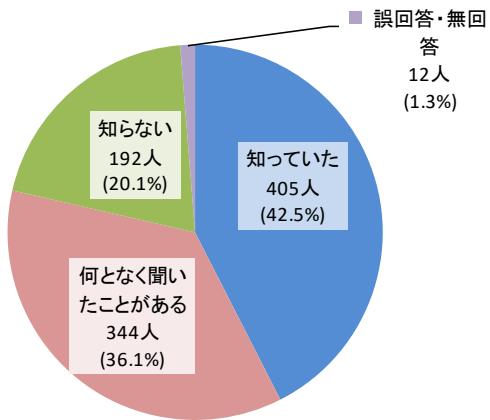


◆ 傾向等

知っていた、何となく聞いたことがある人の割合が約8割で、知らない人は約2割である。

設問 10 「少子高齢化が今後とも進み総人口も減少する見込みであるため、公共施設等の種類によつては統廃合や縮小が進められている」という話題についてご存知でしたか。

項目名	回答人数	割合 (%)
知っていた	405	42.5
何となく聞いたことがある	344	36.1
知らない	192	20.1
誤回答・無回答	12	1.3
合計	953	100.0

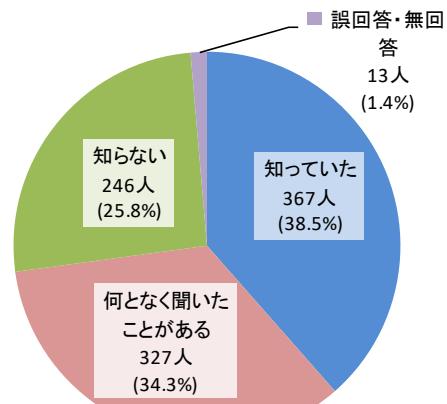


◆ 傾向等

知っていた、何となく聞いたことがある人の割合が約8割で、知らない人は約2割である。

設問 11 「全国の市町村では景気低迷や人口減少等にともなつて厳しい財政事情に直面しており、公共施設等への支出を極力削減する動きが出ている」という話題についてご存知でしたか。

項目名	回答人数	割合 (%)
知っていた	367	38.5
何となく聞いたことがある	327	34.3
知らない	246	25.8
誤回答・無回答	13	1.4
合計	953	100.0



◆ 傾向等

知っていた、何となく聞いたことがある人の割合が約75%で、知らない人は約25%である。

④ 厳しい財政状況の下で公共施設（ハコモノ施設）を維持していくための方策

設問12 以下の①から⑩までの方法ごとに、1から4の中からあなたの考えに最も近い番号1つに○をしてください。

項目名	積極的に実施すべき	どちらかといえれば実施すべき	どちらかといえれば実施すべきでない	実施すべきでない	誤回答・無回答
①1つの建物で色々な使い方ができるようにする。	564	300	23	18	48
②近隣自治体と共同で施設を建設・運営する。	331	365	111	61	85
③施設の建替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する。	314	386	100	63	90
④地域活動に密着した施設は、地域住民等が所有し、維持・管理を行う。	149	344	251	114	95
⑤施設を補強し長持ちするようにして、しばらくの間、建替えないでおく。	193	396	194	75	95
⑥施設を減らす代わりに民間施設（会議室、スポーツ施設等）の利用に対して助成する。	222	421	147	66	97
⑦利用していない市の土地や建物を売却・賃貸して収入を得る。	555	271	31	16	80
⑧施設におけるサービスの水準を引き下げる。	114	211	353	188	87
⑨利用料を徴収できる施設の料金（使用料や入館料）を引き上げ、利用者が負担する。	108	280	336	150	79
⑩増税を行うなど、市民全体で負担する。	27	89	374	384	79
合計	2,577	3,063	1,920	1,135	835

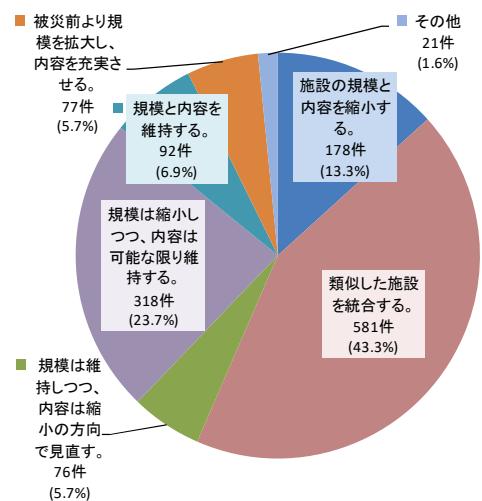
◆ 傾向等

- ・全体として実施すべき割合が高い。
- ・⑨の施設の料金引き上げは、どちらかといえれば実施すべきでない、⑩の増税を行うなどは、実施すべきでない割合が最も高い。その反面、⑨の施設の料金引き上げについては、積極的に実施すべき、或いはどちらかといえれば実施すべき割合も比較的高い。
- ・⑧、⑨及び⑩は、どちらかと言えば市民が我慢する或いは負担する場合であり、これらは実施すべきではない割合が高い。

⑤ 石巻市における東日本大震災で被災した公共施設（被災公共施設）への対応

設問 13 ①被災前と再建後の施設を比べた際の規模（面積）と内容（設備や職員配置等のサービス）について（複数選択可）

項目名	回答数	割合 (%)
施設の規模と内容を縮小する。	178	13.3
類似した施設を統合する。	581	43.3
規模は維持しつつ、内容は縮小の方向で見直す。	76	5.7
規模は縮小しつつ、内容は可能な限り維持する。	318	23.7
規模と内容を維持する。	92	6.9
被災前より規模を拡大し、内容を充実させる。	77	5.7
その他	21	1.6
合計	1,343	100.0

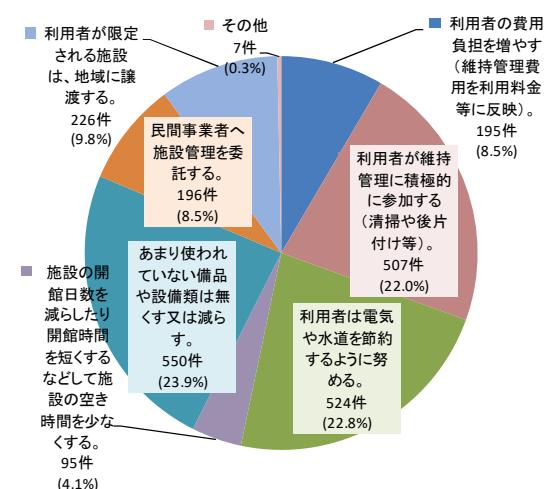


◆ 傾向等

「類似した施設を統合する」が最も高く、全体の4割であり、次いで「規模は縮小しつつ、内容は可能な限り維持する」、「施設の規模と内容を縮小する」の順である。「その他」の記述は、将来の総人口や年齢構成、施設の規模や内容ごとに個別的な検討を求める意見が多くかった。

設問 13 ②再建後の施設の維持管理経費を軽減することについて（複数選択可）

項目名	回答数	割合 (%)
利用者の費用負担を増やす（維持管理費用を利用料金等に反映）。	195	8.5
利用者が維持管理に積極的に参加する（清掃や後片付け等）。	507	22.0
利用者は電気や水道を節約するように努める。	524	22.8
施設の開館日数を減らしたり開館時間を短くするなどして施設の空き時間を少なくする。	95	4.1
あまり使われていない備品や設備類は無くす又は減らす。	550	23.9
民間事業者へ施設管理を委託する。	196	8.5
利用者が限定される施設は、地域に譲渡する。	226	9.8
その他	7	0.3
合計	2,300	100.0

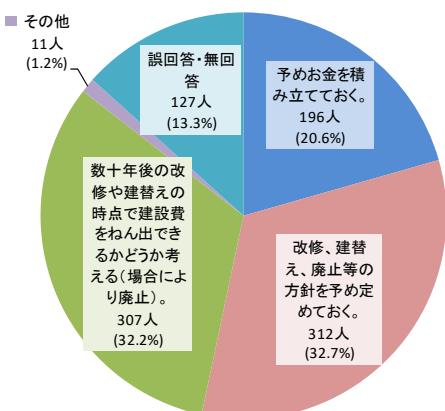


◆ 傾向等

「あまり使われていない備品や設備類は無くす又は減らす」、「利用者は電気や水道を節約するように努める」、「利用者が維持管理に積極的に参加する（清掃や後片付け等）」の順で割合が高く、これらを合わせて全体の約7割を占める。「その他」の記述は、運営主体の積極的な経費削減の取り組みを求める意見が多くかった。

設問 14 被災により再建した施設は数十年後の同時期に改修や建替えの時期が来ます。それに関する対応について、次の選択肢のうちあなたの考えに最も近い番号 1 つに○をしてください。

項目名	回答 人数	割合 (%)
予めお金を積み立てておく。	196	20.6
改修、建替え、廃止等の方針を予め定めておく。	312	32.7
数十年後の改修や建替えの時点で建設費をねん出できるかどうか考える(場合により廃止)。	307	32.2
その他	11	1.2
誤回答・無回答	127	13.3
合計	953	100.0



◆ 傾向等

「改修、建替え、廃止等の方針を予め定めておく」、「数十年後の改修や建替えの時点で建設費をねん出できるかどうか考える（場合により廃止）」の順で割合が高く、これらを合わせて全体の 6 割以上を占める。「その他」の記述は、将来の社会情勢等を踏まえた詳細な検討を望む意見、選択肢に挙げられた複数の対応が必要となりうるという意見があった。

改修や建替えの時期が来ることに対するクロス集計の結果

「改修・建替え」 × 「年齢」

【年齢】

項目名	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		80歳代	
	回答 人数	割合(%)												
予めお金を積み立てておく。	13	23.2	19	22.4	22	19.8	39	27.9	45	21.2	36	26.1	20	24.7
改修、建替え、廃止等の方針を予め定めておく。	28	50.0	37	43.5	51	45.9	50	35.7	71	33.5	46	33.3	29	35.8
数十年後の改修や建替えの時点で建設費をねん出できるかどうか考える(場合により廃止)。	14	25.0	28	32.9	37	33.3	49	35.0	93	43.9	55	39.9	30	37.0
その他	1	1.8	1	1.2	1	0.9	2	1.4	3	1.4	1	0.7	2	2.5

注) 誤回答と無回答は除く。

◆ 傾向等

60 歳代、70 歳代、80 歳代と年齢層が高い方が「数十年後の改修や建替えの時点で建設費をねん出できるかどうか考える（場合により廃止）」の割合が高いが、20 歳代と年齢層が低いほどその割合が低い。

⑥ 石巻市におけるインフラ施設（道路・橋・下水道・漁港・公園等の施設）の整備

設問 15 以下の①から⑧までの方法ごとに、1から4の中からあなたの考えに最も近い番号1つに○をしてください。

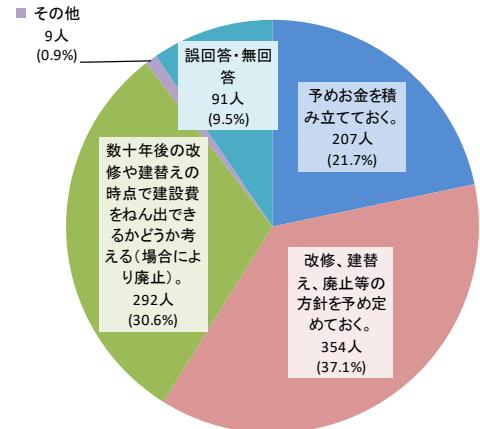
項目名	積極的に実施すべき	どちらかといえば実施すべき	どちらかといえば実施すべきでない	実施すべきでない	誤回答・無回答
①インフラ施設の整備は、積極的に進める。	422	386	48	12	85
②利用率の低いものを廃止し、インフラ施設の総量を減らす。	311	412	105	31	94
③民間に管理運営を任せることなど、民間の技術・資金を活用する。	239	433	126	51	104
④地域に密着しているインフラ施設（小規模な公園等）は、地域住民等が維持・管理を行う。	221	393	163	76	100
⑤インフラ施設を補強し、今あるインフラ施設を長持ちするようにして、できるだけ長く使用する。	304	445	90	17	97
⑥機能していない道路や水路の土地を売却・貸付することによって収入を得る。	433	344	60	17	99
⑦利用料を徴収できる施設の料金（下水道使用料等）を引き上げ、利用者が負担する。	85	226	351	194	97
⑧増税を行うなど、市民全体で負担する。	26	103	365	368	91
合計	2,041	2,742	1,308	766	767

◆ 傾向等

- ・全体として実施すべき割合が高い（ハコモノ施設と類似する）。
- ・⑦の施設の料金引き上げは、どちらかといえば実施すべきでない、⑧の増税を行うなどは、実施すべきでない割合が最も高い。その反面、⑦の施設の料金引き上げについては、どちらかといえば実施すべき割合も比較的に高い（ハコモノ施設と類似する）。

設問16 被災により復旧・復興を進めるインフラ施設は、数十年後の同時期に改修や再建設の時期が来ます。それに向けた対応について、次の選択肢のうちあなたの考えに最も近い番号1つに○をしてください。

項目名	回答人数	割合(%)
予めお金を積み立てておく。	207	21.7
改修、建替え、廃止等の方針を予め定めておく。	354	37.1
数十年後の改修や建替えの時点で建設費をねん出できるかどうか考える(場合により廃止)。	292	30.6
その他	9	0.9
誤回答・無回答	91	9.5
合計	953	100.0



◆ 傾向等

「改修、建替え、廃止等の方針を予め定めておく」の割合が最も高く、将来に備えての意識も高いと考えられるが、逆に「数十年後の改修や建替えの時点で建設費をねん出できるかどうか考える」割合も次に多い。「その他」の記述は、インフラ施設の中でも公園は生活に直結しないため改修や再建設を積極的に実施しなくてもよいのではないかという意見、インフラ施設は国全体で対応を検討すべき課題であるとの意見があった。

インフラ施設の改修や再建設におけるクロス集計の結果

「インフラ施設の改修・再建設」 × 「年齢」

【年齢】

項目名	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		80歳代	
	回答人数	割合(%)												
予めお金を積み立てておく。	19	32.8	22	25.3	24	20.7	40	27.0	44	20.4	33	22.3	24	27.9
改修、建替え、廃止等の方針を予め定めておく。	26	44.8	38	43.7	55	47.4	56	37.8	84	38.9	60	40.5	35	40.7
数十年後の改修や建替えの時点で建設費をねん出できるかどうか考える(場合により廃止)。	12	20.7	26	29.9	35	30.2	51	34.5	86	39.8	53	35.8	27	31.4
その他	1	1.7	1	1.1	2	1.7	1	0.7	2	0.9	2	1.4	0	0.0

注) 誤回答と無回答は除く。

◆ 傾向等

・若年層（20歳代）において、他の年代に比べ「予めお金を積み立てておく」割合が最も高く、逆に「数十年後の改修や建替えの時点で建設費をねん出できるかどうか考える」割合が最も低いことから、将来に備えての意識が高い傾向がうかがえる。

石巻市公共施設等総合管理計画

発行日：平成28年3月

改訂日：令和5年3月

発 行：石巻市

編 集：総務部行政経営課

住 所：〒986-8501

宮城県石巻市穀町14番1号

電 話：0225-951111（代表）

FAX：0225-224995